

課題1 Pタイル法による二値化

- ・入力画像をPタイル法で二値化せよ
- ・前提:文字領域が P=10% の割合で構成
- cv::threshold 関数を利用する

病人や怪我人の看護は、病気や怪我の原因、症状、処置とその後の日常生活への影響など、看護人の経験に基づいて実施される。看護師を目指す看護学生は充分な看護経験を持っていないため、看護教育の分野では事象を論理的に分析する方法である関連図(1)を作成して、分析方法について学習している(2.3)、関連図を利用することで患者の全体像を視覚的に分析し、把握することが可能になる。関連図の例を図1に示す。看護の分野では関連図の書き方はいくつか提案されているが、基本的には患者の容体・処置方法・日常生活や予後に対する影響などの患者に関する情報(患者

入力画像 papersample1.jpg

出力画像 文字領域を『白』

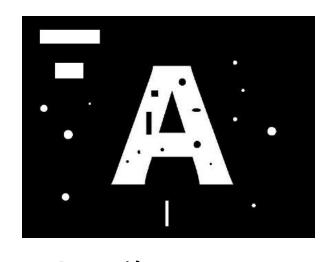
提出物: ソースファイル .cpp

処理結果画像 jpg / .png …

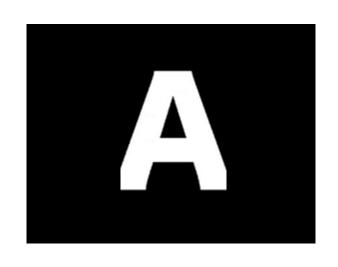


課題2 膨張収縮によるノイズ除去

• 入力画像のノイズを膨張収縮処理により除去せよ



入力画像 a_img3.jpg



処理結果

提出物: ソースファイル .cpp

処理結果画像 .jpg / .png ···